

平成14年2月18日

各 位

会 社 名 株式会社マースエンジニアリング
代表者氏名 代表取締役社長 古 宮 重 雄
連絡者氏名 取締役総務部長 村 上 浩
電 話 番 号 0 3 - 3 3 5 2 - 8 5 5 5
(コード番号6419 東証第一部)

新製品の販売に関するお知らせ

当社は、遊技業界において、磁気カード方式のプリペイドカードシステムとして、「サイクルカードシステム」のCRユニット「MX-140K1(K1)」及び「MX-140K1-(K1)JET」を既に発売しており、全国のパチンコホールに導入し、非常に高い評価をいただいております。

今般当社は、昨年12月に保安電子通信技術協会の型式試験を合格して、既に各都道府県の公安委員会の検定を通過したICカード仕様のCRユニット「MX-140K1-(K1-i)」に引き続いて、新たにコイン形状のICカード(ICコイン)仕様のCRユニット「RX-140Z1(Z1)」を開発し、1月30日付で、保安電子通信技術協会の型式試験に合格致しています。今後は各都道府県の公安委員会による検定完了後、順次販売可能となりますので、お知らせ致します。

記

1. 新製品開発の経緯

パチンコ業界における当社のプリペイドカード事業は、従来からの磁気カード方式の会員カードに、プリペイド機能をもつカードリサイクル型の「サイクルカードシステム」として、また多機能をもつ会員カードとして業界に先鞭をつけ、プリペイド会員カードの業界標準仕様となっています。もちろん、現状の磁気カード方式の「サイクルカードシステム」でも、セキュリティや機能面においても、他社の追従を許さない完成度の高いシステムであると自負しております。

しかしユーザーからの声と時代の趨勢から、次世代は磁気カードに代わるICカードの時代になることは明白であり、新たな可能性と機能の拡張性を追求することが可能になり、またホール内の利便性と使い易さからコイン形状のICカード、すなわちICコイン仕様も併せて開発を致しました。

ICカード仕様は、主に遊技客の会員制を志向するホールに、また今回のICコイン仕様は、店内業務や管理の簡略化を求めるホール向けとして開発し、この二つの仕様で、夫々ホールのニーズをほぼ100%満たすものと考えます。また当社は、一昨年に東芝ケミカル㈱から、同社のもつRFIDの技術・製造設備等の一切の事業を継承した経緯から、ICカードや今回のICコインの製造技術をもち、独自に開発されたものです。当社がICカードやICコインをパチンコ業界で使用することで、今後当社のRFID事業を推進する大きな起爆剤となるものと期待しています。

2. 新製品の特徴

(1) ICカードシステム

- ・IC内臓により利便性の向上やシステムの拡張性など多種多様な活用が可能
- ・会員カードにプリペイド機能を付加し、貯玉/再プレイ・景品交換・ポイントサービス・個人情報収集カードとして、これからのホール経営に不可欠な営業戦略を実現
- ・カード残高は現金精算できるため、気軽に高額券の購入が可能
- ・パチンコからスロットまで全台カード化を実現し、現金の一元管理や店内業務の簡略化を推進
- ・ICカードによる優れた認証機能と書き換え不可能なカード構造により万全のセキュリティを確立

(2) ICコインシステム

- ・ サイクルコイン（ICコイン）を採用し、ゲーム感覚のプレイスタイルを提案
- ・ コインにICを内蔵し、優れた認証機能とID管理の情報管理で高いセキュリティを確立
- ・ サイクルコインは現金精算ができるので、気軽に高額券も使用でき、売上促進に貢献
- ・ 4金種対応紙幣識別機RB-70との連動で入金機能などローコストで使いやすさを向上

3. 新製品の販売時期

平成14年4月上旬

4. 新製品の売上高への影響

新製品のICカードとICコイン仕様のプリペイドカードの同時発売は、今後業界のプリペイドカード商戦に少なからずインパクトのある影響を与えるものと考えております。しかし当社が既に発表しております当期業績予想（連結：単体）に対しては、当システム機器の正式出荷を4月上旬としており、今期の影響は僅少と考えます。

以上